



杉並区立小学校PTA野球連合協議会

50th Anniversary



Since 1965 2015



役員



審判部

Contents

杉並区立小学校 PTA 野球連合協議会理念	2
杉並区立小学校 PTA 野球連合協議会 会長 あいさつ	3
50周年によせてお祝いの言葉	4
50年のあゆみ	8
各チームの紹介	15
編集後記	76

杉並区立小学校PTA野球連合協議会理念

杉並区立小学校 PTA 野球連合協議会は、杉並区立の各小学校の PTA 野球部により構成され、野球部の活動を通じて以下の目的を達成するために存在・発展する。

〈目的〉

- 野球を通じての父親間の交流
- 少年野球への指導・協力
- 学校行事等への協力を通じた地域貢献



杉並区立小学校PTA野球連合協議会 会長 あいさつ

杉並区立小学校PTA野球連合協議会 50th Anniversary Since 1965 2015



会長あいさつ

杉並区立小学校 PTA 野球連合協議会 会長 二村 好彦

杉並区 PTA 野球連合協議会は創立 50 周年を迎え、春の大会では関係者の協力により盛大かつ PTA 野球にふさわしい開会式を行う事ができ、お礼と感謝を申し上げます。

昭和 62 年、当番校（井荻小）の監督として運営委員に携わったのが縁で、庶務部長 2 年、副会長 1 年の後、前会長の小野浩一氏（桃一小）の後任で 4 代目会長に選任（当時 45 歳）され 25 年の歳月を迎えました。

会長就任に伴い“3つのスローガン”を信条として実施してきました。

- (1) 野球をする以上、安定したグラウンドの確保をどうするか
- (2) 試合の公平性、レベルアップ、また PTA 野球として子供達の手本となる“品”、“格”を組織運営でどう取り組むか
- (3) 組織を維持・発展させる

以上 3 項目の実現に向け当面、自分達で出来る事からスタートしました。これらのうち、(2)では、審判部の設置を提案、杉並公会堂で各チームより参加者が 100 名を超え白熱した合議の末に発足。試合の公平性・レベルアップ、ラフプレーや暴言、マナー等の徹底をしました。

(3) の組織維持・発展では、選手確保の難しさと高齢化が進んでいるため、新人募集と PR を兼ねて杉小 P 野球ニュースを発行して全家庭に配布（別紙）。高齢化対策では、シニア部（50 歳以上）を立ち上げ、楽しむ野球を目指し OB 枠として籍を置き現役と共にチームを支え合う（現在は 60 歳スーパーシニア、70 歳古希チーム）制度を新設。

(1) のグラウンド確保では、区の提供だけでは運営困難、公共施設の優先利用の理解を得るには、社会から見て提供し得る団体力が問題、実現のためには参加会員の理解と協力が不可欠、また PR 活動が必要等の観点から事業計画の中で、PR 活動と会員の協力を盛り込んでいます。

①青少年交友会主催・文科省後援の新宿－青梅かち歩き大会（3 月、11 月）での受付、交通整理、車等で協力 ②おやじ日本全国大会（3 名以上参加）役員は会場案内、受付、杉並の子供達と全都の子供の交流大会、杉並 PTA カップ 8 回目（読売新聞後援）、新杉並名物として毎日新聞、TV 等で紹介されたレフティー野球大会（4 回目）等々、会員の協力と PR 活動が浸透し提供グラウンドに良い効果がでてきました。

私共 PTA 野球の原点は子供が取り持ってくれた“縁”である事を忘れてはなりません。

地元の学校の子供野球に関わりを持ち、学校行事には親父だから必要とする協力を、また地域の防災・お祭り等にも積極的に参加して PTA 野球の更なる継続・発展で新しい時代を築き上げてください。

発足50周年に寄せて

自民党衆議院議員
石原 伸晃



杉並区立小学校PTA
野球連合協議会が発足50
周年を迎えられましたこと、お慶び申し上げます。
協議会は父親間の交流、

子どもの健全育成、地域貢献を目的として1965年に発足しました。当初の大会参加チームは4校でしたが、今年の50周年記念大会では36校ものチームが参加されました。少子化による学校統合の中で、これだけ多くのチームが参加して大会が開催できるのは、二村好彦会長をはじめ、歴代会長、役員の皆様がの野球を愛する気持ち、そして、たゆまぬ努力の賜物であると心から敬意を表します。

協議会は、子どもの健全育成に力を入れており、杉並PTAカップと題した小中学生のための大会も創設し、今年で八回目を迎えました。また、お年寄りが野球を楽しむために杉並スーパーシニアを結成し、全日本選抜選抜大会出場を果たされました。最近では、幼少のころ左利きが故に好きなポジションにすることができなかった二村会長が、日本初となるレフティ野球を考案し、大会を行ったことで全国的に注目を集めました。若い世代からお年寄りまで、誰もが活躍できる環境をつくり、斬新な発想で野球を楽しむ皆様の取組みに、今後とも期待しています。

今夏の甲子園では、東京都から関東第一高校と早稲田実業高校が準決勝まで勝ち残りしました。多くの選手の活躍に日本中が沸きました。また、2020年東京オリンピックの追加種目候補に野球が選ばれるなど、野球界は盛り上がりを見せています。野球界の更なる飛躍に向け、私も皆様とともに働いてまいります。

結びに、二村会長を中心に協議会が今後ますます発展されますよう心から祈念し、お祝いの挨拶とさせていただきます。

野球でつながる

杉並区長
田中 良



このたび、杉並区立小学校PTA野球連合協議会が誕生50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

協議会の皆様には、日頃より、子ども達への野球の指導はもとより、学校や地域行事への積極的な協力を通じ地域に貢献していただき、心より感謝申し上げます。

さて、杉並区では、平成24年度に「次世代育成基金」を創設し、自然・文化・スポーツなど様々な体験・交流事業への子ども達の参加を推進し、子ども達が将来の夢に向かって健やかに成長できるよう支援しています。体験を通じて、子ども達は視野を広げ、同じ時代を生きる多様な人との確かなつながりを育んでいます。

杉並区立小学校PTA野球連合協議会は、50年の長きにわたり、野球というスポーツを通じて子どもと地域の人をつなぎ、さらには年代を超えてその活動理念を引き継いでこられました。今春行われた50周年記念大会の開会式に参加させていただき、人を育て人をつなぐスポーツの力を改めて実感させていただきました。地域の「おやじ」として子どもたちの成長を見守るとともに、信頼に裏打ちされた地域の力を育んでこられた皆様の活動に敬意を表する次第であります。

これからも益々ご活躍いただくことを期待するとともに、皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

祝辞

杉並区教育委員会 教育長
井出 隆安



杉並区立小学校PTA
野球連合協議会が発足50
周年おめでとうございます。

戦後、各校において

PTAが組織され、様々な活動を進める中で、昭和41年に、野球を通じて父親間の交流を図ることを目指して、杉並区立小学校PTA野球連合協議会が発足しました。それによって、多くの父親が学校や子どもたちとかわる機会を得るとともに、このかわりをきかけとして、青少年の健全育成や地域の活性化にも御貢献いただきました。

杉並区教育委員会では、平成24年に、今後10年の杉並の目指す教育の指針となる「杉並区教育ビジョン2012」を策定し、「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」の実現を目指して、家庭・地域・学校が協働し、共に支える教育を進めています。子どもの健全な成長を願い、様々な課題を共有して、持ち味を活かした実践をしていくことが欠かせません。

2020年、東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。これまで以上に野球をはじめとしたスポーツへの関心が高まり、スポーツを通じた多様な区民の交流が活発化していくことでしょう。

地域の中に父親の活躍の場を創り出し、子どもを中心に多様なかわりの機会を生み出してこられた杉並区立小学校PTA野球連合協議会のさらなる御活躍を大いに期待いたします。

50周年によせて

杉並区議会議長
はなし 俊郎



杉並区立小学校PTA
野球連合協議会が発足し
て50周年を迎えました
ことを心よりお祝い申し
上げます。

近年、子どもを取り巻く家庭環境は大きく変化しておりますが、思い返すこと50年前、昭和41年というのはどのような時代だったでしょうか。

父親は会社で働き、母親は家庭を守り子育てを担う、というのが家庭のかたちとして一般的に認識されていたように思います。そして男性の多くは、高度経済成長期のなか毎日遅くまで働き、休日にも会社の付き合いで外に出掛けるなど、父親が子どもと一緒に過ごす時間がほとんどない家庭も少なからずあったのではないかと思います。

そのような状況のなか、野球を通じた父親同士の交流や少年野球の指導、学校行事等への協力を通じた地域貢献を目的として、貴協議会が発足しました。そしてこの取組は現在に至るまで、父親たちに、子どもとの関わりを深め、地域とのつながりをつくる機会を提供してきました。

ひとは身近な人間関係から、自らの価値観のものさしをつくり、他者への関わり方を学びます。地域のなかでの人との関わり合いを大切に、生き生きと活躍する大人の姿が、いつの時代においても子ども達にとってよい手本となるものと信じております。

最後になりますが、貴協議会の活動の益々のご発展と、関係者皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

50周年によせてお祝いの言葉

50周年おめでとうございます

校長会／桃三小校長
末永 弘



杉並区立小学校PTA野球連合協議会50周年おめでとうございます。4月に行われた50周年記念大会に出席させてい

ただき、改めて半世紀に亘って行われてきた小学校PTA野球大会の歴史と伝統の重みを感じることができました。小学校単位で編成されているチームは、様々な経緯を経ながら今に至っていることと思います。各野球チームは、お父さん方の生涯スポーツの役割を果たしているばかりでなく、子どもたちの健全育成や教育活動のサポートを行い、学校にとってなくてはならない存在となっているのではないのでしょうか。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、野球が競技種目として挙げられています。さらに野球に関わるPTAの方々が増えてくれることを願っています。父親が夢中になって運動に取り組んでいる姿を見ながら子どもたちは運動の魅力にひかれていきます。是非、親子で豊かなスポーツライフの実現を目指してほしいと思います。

杉並区PTA野球連合協議会 50周年をお祝いで

副校長会／天沼小副校長
松田 剛匡



杉並区PTA野球連合協議会が創立され50周年をお迎えになりましたこと、心よりお祝いお喜び申し上げます。

今年4月に行われました50周年記念大会の開幕式では、杉並区長・多くの議員さん・教育長や小学校の校長先生方の参加があり、各学校のPTA野球部の皆様と、各学校の少年野球チームの皆さんが参加してのたいへん盛り上がる開会式でした。そして、春の暖かい日差しと青空の下で、和気あいあいとした素晴らしい開会式だったことを記憶しております。

メンバーが替わったり人数が増減したりしたことと思われませんが、50年という長い期間続いたことを思うと、この開会式の参加者の数倍もの方が関わって来られたことになり、50周年を迎えた素晴らしいことを改めて感じます。これからも野球を通して、体を動かす楽しさを満喫され、交流を深められることを願っております。

学校をベースとしたチームであることは、学校にとっても嬉しいことですし心強く感じることです。PTAの皆様には、日頃よりたいへんお世話になっておりまして、学校の様々な行事や、日々の活動でもいつも学校を支えてくださり、多くの皆様にお手伝いいただいているからです。教員だけでは手のまわらない不十分になりがちな部分でも、学校側が気づかないところでも、皆様にご協力いただいていることに心から感謝いたします。

社会人になるとなかなか体を動かす機会が少なく、また仕事の関係以外の方と話す機会も少なくなってしまうがちです。そういう面から考えると、PTA野球は心と体の健康にとってもよいと思います。今後のますますの発展を祈念いたします。

五十周年万歳!

公益社団法人青少年交友協会理事長
博士(学術)

森田 勇造



時は流れて常ならず、されど我らにとっては、日々その時、その時が常なることなり。

五十年前の日本は、まだ戦後の復興期で、人心も落ち着かず大変な時代でした。その時の東京オリンピック大会は、日本人を奮起させ、子どもたちに夢と希望を持たせました。

杉並区立小学校PTA野球連合協議会は、その夢と希望に満ちた子どもたちと、野球を通して社会をよりよくしようと立ち上がった人々によって支えられ、半世紀もの長い間、努力と工夫がなされてきたものと思われま

す。“継続は力なり”とよく言われますが、時は流れ、人は去り、年々歳々変わりゆく社会現象に対応して、苦勞を重ねてこられた皆さんに感謝とお祝いの言葉を捧げます。

また、長きにわたって、公益社団法人青少年交友協会が主催する、「新宿―青梅43kmかち歩き大会」に、ご支援・ご協力下さっていることにも、心からの御礼を申し上げます。

目の前にいる子どもはすぐに成人し、社会人となります。世話する各人はいろいろな事情があるでしょうが、皆で力を合わせて、日本国が安定・継続するのに必要な、よりよい社会人を育成する、青少年健全育成活動に精を出し、これからも可能な限り頑張っ

野球は人生勉強!!

認定NPO法人おやじ日本理事長
元東京都副知事

竹花 豊



50周年を迎えられるとのこと、心から敬意とお祝いを申し上げます。

私の子どもも小学3年生から中学3年生まで地

域(中野)の野球チームにお世話になり、成長していきました。監督やコーチから技術ばかりではなく、チームの一員として大切なことを学んでいました。それは子どもばかりではなく、私も多くを教えられました。とりわけ、自分の子どもが集団の中でどのようにふるまうかをしっかり見ることで、彼をよく理解できたことです。他の子どもと比べてみて、初めて自分の子どもの良さや弱点を客観的に知ることができるものだと知りました。

そして、野球チームに関わる大人たちの姿が子どもたちを育てることも知りました。自分の子も他人の子も同じチームの一員として成長を願い、活躍を喜び合う親やコーチたちの立ち居振る舞いを子どもたちはよく見ているのです。そこから彼らは、社会人としての基本的な考え方や感情を知らず知らずのうちに身につけていくのだと感じました。

スマホだ、いじめだといろいろな問題があり、子どもたちが普通に育っていくことも難しい時代ですが、野球を通して、親と子どもが互いに理解を深め、人として大事なことを学びあうことで、問題を小さくしていくことができると思います。

杉並の皆さんのますますのご活躍を心から祈っております。



50年のあゆみ

杉並区立小学校PTA野球連合協議会
50th Anniversary Since 1965 **2015**



50年のあゆみ 50th Anniversary 1 歴代優勝校(準優勝校)

年度	西暦	春	優勝校	準優勝校	秋	優勝校	準優勝校
平成27	2015	春	松庵 ●3回目	馬橋	秋	馬橋 ●6回目	堀ノ内
平成26	2014	春	馬橋 ●5回目	久我山	秋	井荻 ●5回目	松庵
平成25	2013	春	馬橋 ●4回目	和田	秋	杉二 ●5回目	浜田山
平成24	2012	春	馬橋 ●2回目	松庵	秋	馬橋 ●3回目	和田
平成23	2011	春	杉二 ●4回目	荻窪	秋	松庵 ●2回目	馬橋
平成22	2010	春	新泉 ●2回目	杉八	秋	堀ノ内 ●初	杉二
平成21	2009	春	高井戸東 ●3回目	馬橋	秋	杉八 ●初	西田
平成20	2008	春	八成 ●初	久我山	秋	井荻 ●4回目	三谷
平成19	2007	春	四宮 ●10回目	井荻	秋	三谷 ●初	堀ノ内
平成18	2006	春	杉十 ●6回目	四宮	秋	松ノ木 ●初	馬橋
平成17	2005	春	杉十 ●5回目	桃一	秋	馬橋 ●初	済美
平成16	2004	春	済美 ●2回目	三谷	秋	杉二 ●4回目	八成
平成15	2003	春	桃五 ●3回目	新泉	秋	四宮 ●9回目	三谷
平成14	2002	春	桃五 ●2回目	沓掛	秋	久我山 ●4回目	桃五
平成13	2001	春	桃五	三谷	秋	久我山	四宮
平成12	2000	春	井荻	松庵	秋	和泉	杉二
平成11	1999	春	井荻	杉二	秋	久我山	済美
平成10	1998	春	松庵	四宮	秋	済美	井荻
平成9	1997	春	西田	富士見	秋	沓掛	東田
平成8	1996	春	新泉		秋	四宮	
平成7	1995	春	四宮		秋	東田	
平成6	1994	春	井荻		秋	桃一	
平成5	1993	春	久我山		秋	四宮	
平成4	1992	春	高四 ●5回目		秋	東田	
平成3	1991	春	四宮		秋	杉一	
平成2	1990	春	桃二 ●4回目		秋	四宮	
平成1	1989	春	浜田山		秋	桃二	
昭和63	1988	春	高井戸東		秋	富士見丘	
昭和62	1987	春	浜田山 ●5回目		秋	四宮	
昭和61	1986	春	四宮		秋	四宮	
昭和60	1985	春	高井戸東		秋	桃四	
昭和59	1984	春	桃四		秋	杉九	
昭和58	1983	春	桃二		秋	桃四	
昭和57	1982	春	高四		秋	高四	
昭和56	1981	春	杉七		秋	杉七	
昭和55	1980	春	高四		秋	杉二	
昭和54	1979	春	杉二		秋	記録なし	
昭和53	1978	春	富士見丘		秋	記録なし	
昭和52	1977	春	杉四		秋	浜田山	杉四
昭和51	1976	春	和泉		秋	高四	
昭和50	1975	春	西田		秋	杉七	
昭和49	1974	春	杉五		秋	記録なし	
昭和48	1973	春	杉五		秋	記録なし	
昭和47	1972	春	浜田山		秋	杉五	
昭和46	1971	春	杉十 ●4回目		秋	浜田山	
昭和45	1970	春	杉十		秋	杉十	
昭和44	1969	春	富士見丘		秋	杉十	
昭和43	1968	春	高二		秋	杉二	
昭和42	1967	春	高二		秋	桃二	
昭和41	1966	春	—		秋	西田	

50年のあゆみ 2 活動記録

50th Anniversary

1 おやじ日本への協力



2 活動記録

1 おやじ日本への協力



毎年開催される「おやじ日本全国大会」への参加協力

会場受付・会場案内・交通整理

2 「かち歩き」への参加協力（杉並区内の沿道支援活動）



新宿中央公園から青梅まで43km 交通整理及び車・受付で協力

50年のあゆみ 3 杉小P野球ニュース(新聞:1号から5号)

50th Anniversary



1号 平成4年3月19日発行

3 杉小P野球ニュース(新聞:1号から5号)



2号 平成9年3月23日発行

3号 平成10年3月29日発行

2 活動記録

3 レフティ野球(2015年大会で開始から4年目を迎える)



杉並の新名物としてマスコミ報道

4 PTAカップ主催 (2015年で第8回大会を迎える)



杉並の子供たちと全部の子供たちの交流
甲子園球児も2名でした。

5 スーパーシニア活動支援(毎年全国大会への参加)



田中良区長に全国大会出場の挨拶

3 杉小P野球ニュース(新聞:1号から5号)



4号 平成11年3月25日発行



5号 平成12年4月23日発行

2 活動記録

6 元プロ野球選手による「少年野球教室」の開催



7 新年会



2 活動記録

⑧ 50周年記念大会(春季)開会式 2015年4月12日



堀内恒夫(元巨人軍監督)参議院議員の始球式



阿波踊りの「高円寺のびゆく連」



捕手田中区长、打者PTA会長



杉並総合高校ブラスバンド



各チームの紹介

杉並区立小学校PTA野球連合協議会
50th Anniversary Since 1965 2015